

鴨沂の流儀

進路指導部だより
平成29年11月15日発行・第10号
京都府立鴨沂高等学校
進路指導部

3年生 勝負を支える鴨沂の流儀

N



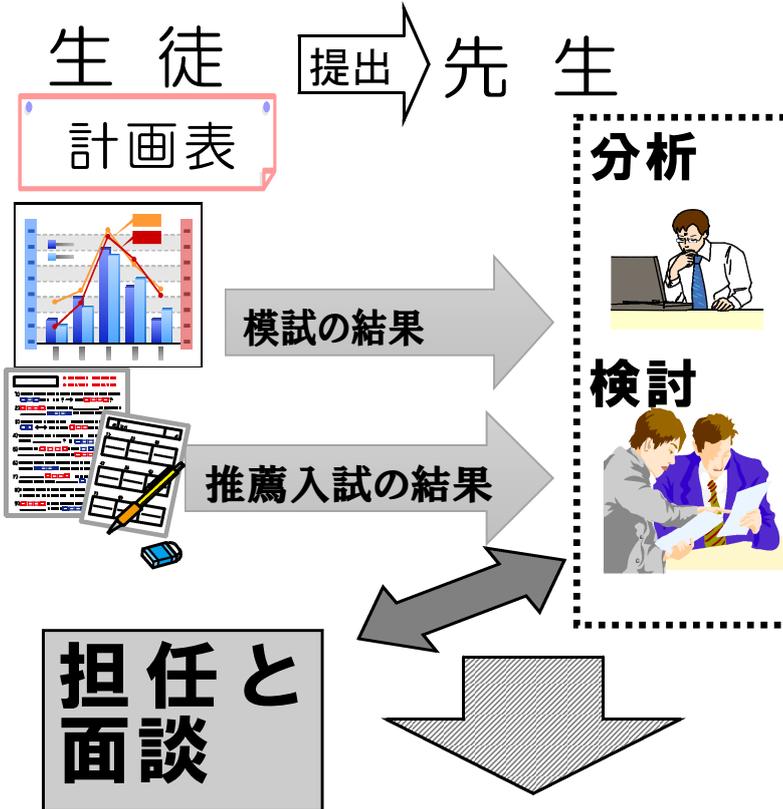
OH! 多夢



から

WINNERへ

秋から冬。夢を抱きながら学習に励んだ結果として、いよいよ現実の勝利を得るための計画を練る時が来ました。個々の学習状況に応じて立ててみた受験計画を、担任の先生や進路指導部の先生のアドバイスを受けながら色づけしていく中で固めていきましょう。



具体的には、君たちが提出する一般入試の受験計画書を、今後、担任・進路指導部の先生方が検討します。12月になると、担任の先生との面談の中で一般入試の受験校の詰めを行います。そのころには推薦入試の結果も出ていますから、提出した計画に様々な修正を加えながら、最終的な受験計画を練り上げていくことになります。

一般入試の出願は、一つの結果が出ることにするではありません。事前に日程をにらみながら受験計画を作っていくものです。調査書の申請などについては別の機会に詳述しますが、年内に一般入試の計画と申請をしておかないとスケジュール的に間に合わないのです。

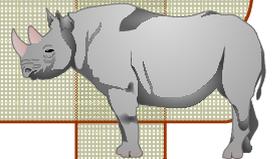
目標校—実力相応校—安全校のバランスをとりながら、学習の成果が万全の形で発揮できるような入試計画を作成しましょう。

**計画書の提出日は
11月18日厳守です**

出願校決定へ(年内です)

冬季進学補習の案内

12月21日(木)	1年・2年進学補習	3年センター試験対策テスト会
22日(金)	1年・2年進学補習	3年センター試験対策テスト会
25日(月)	1年・2年進学補習	3年進学補習
26日(火)	1年・2年進学補習	3年進学補習
27日(水)		3年進学補習



くら☆すた 第10話「大きな夢&夢 スキでしょう？」の巻

勇気ナエ : なかなかなかなか大変だけど、過去問ゲットだぜ。

鞍馬ノボル : ゲットしても解くときには注意が必要だよ。この通信の裏面をしっかりと読まなくちゃ。

鴨川みぎわ : ナエちゃんはポケモンのアクセントで過去モンを言ってるのよね。

勇気ナエ : だって、過去モンってその方がカワイイんだもの。

謎の声 : 過去問は合格最低点を意識をするのじゃ。その前後に受験生の得点は集中する。ほぼきたで満足しては…
いつも話が途中になる謎の声。次回はたっぷりの「くら☆すた」をお楽しみに。

2年生決起の秋

CLIMAX は分野別説明会

11月22日(水) 6限

一、 一、 一、
勉強法 情報 心構え

自らの進路を切り開いていくためには3つの大切なことがあります。自分の進路を切り開くのは自分です。だれも代役を務めてくれません。今日の複雑な各種試験制度の中では、情報を集めて自分のものにしておくことが重要です。今こそ自分にあった勉強法を確立する時です。



進路に向けてを意識した学習に向けて立ち上がる2年生の秋。「進路講演会」に続いて、「分野別説明会」を実施します。

この説明会は、君たちにベースとなる「情報」を伝え、適切な「勉強法」の指針となり、「心構え」を問うものとなることを約束します。

連載3 鴨沂の流儀の合格術

☆過去問を分析する 過去問を演習する

過去問題演習は、基礎からプラスしての学習の第一歩。推薦入試ならば今が対策真っ盛りとなる。一般入試についてもそろそろ取り組んだ方が良さそう。

ダメな例

- 普通の問題集のような気分で解いてしまった。
- 思っていたよりも難しく自信を喪失してしまった。
- 思っていたよりも易しく楽観してしまった。
- 受験直前に解いたので対策が間に合わなかった。



大切なのは、問題の「分析」と「演習」を分けて考えることだ。

分析する

- ① 問題の種類を分類してみる。
記述式の場合は、その字数もチェックする。
- ② 大問数と小問数を確認する。
その難易に傾向があれば、時間配分や配点の参考になる。
- ③ 特徴的な出題を確認する。
- ④ 頻出分野がないか検討する。



これらを確認しておけば、今からどこを自分は鍛えるべきかが見えるはず。分析は、今後の学習計画につなげるためのものである。

演習する

演習する時のチェックポイントを挙げておこう。

- ① 時間を計る。
これが何より大切。時間の配分で点数は上がりも下がりもする。
- ② 本番を意識して解く。
とにかく真剣に。安易にあきらめず最後までやりきる。
- ③ 目標点を意識して解く。
合格最低点を調べてそれを基準にする。

特に③は注意。最近は国公立でも合格最低点を発表していることが多い。6割で十分合格圏のところもあれば、7割8割が必要なことも。変に自信を持ちすぎたり、失ったりしないためにもデータをまとめておこう。

合格する戦略を持って過去問題を解く。これは受験の鉄則だ。